



大島町立さくら小学校
3学年 学年通信
令和7年 7/3 No. 31
3年担任 伊藤 貴之

太陽の子。

朝、玄関前の花壇に水をあげている子の姿が。その背中には「心」と書かれています。登校してすぐに植物に水をあげるなんて、なんて素敵な「心」をもっているのだろうか。その正体は小林奏太くんでした。3年生はオクラを育てています。花壇には、きゅうりやトマト、とうもろこしなどの野菜や、ハマカンゾウや向日葵などの植物が植えられています。朝の陽ざしと奏太くんの水を浴びた生き物たちが生き生きとしているように見えました。こういう「心」の持ち主がたくさん現れるといいですね。朝から素敵な気分になりました。



教えることから学ぶこと

3年生の算数の学習ですが、1学期の教えるべき内容は「暗算」のみとなりました。「暗算」が2時間での扱いとなり、ワークテストはありません。1学期もまだ3週間ほどあります。もちろん、習った学習内容の復習も大切です。しかし、少し長すぎる。そこで私は2年生担任の長嶋先生をお願いをすることにしました。「2年生に3年生は教える交流授業をしたいのですが。」このような取組は昨年度の5年生と4年生が算数の「立体」の学習を通して交流をしました。交流授業のメリットは、教えられる側(2年生)は自分のペースで問題を解き、分からないところはペアの2年生がその場で教えてくれるところです。教える側(3年生)は習った学習の復習ができること、人に教えることの大変さを実感すること、褒めることの大切さを味わうことができます。第一回目の授業が火曜日に行われました。3年生の子たちからは「すごすぎる！天才！」「問題解くの早いね！」などと褒め言葉がたくさん聞かれました。なかなか言うことを聞いてくれなかったり、伝えたいことがうまく伝えられなかったりと苦労する場面もあるかもしれません。その経験も必ず今後生きてくると思っています。ご家庭でもぜひ話題にし、お子さんにアドバイスをいただけたら幸いです。

